

断熱モルタルの施工方法

- 1 下地の清掃** 施工面のレイタンス、塵、油分などは取り除き、水洗いして丁寧に清掃してください。
- 2 シーラー塗布** キープジョンの5倍希釈液を刷毛やローラーなどで均一に塗布してください。
●次工程までの間隔時間：3時間以上
- 3 下地調整** サンドモルタルを金鏝で塗り付け、下地を均一にしてください。塗り厚は下地の不陸の程度や必要とする断熱性能によって決定してください。
注) 下地精度によっては本工程を省略することも可能です。
●次工程までの間隔時間：3日以上
- 4 断熱モルタルの練り混ぜ**
 - (1) 混和材が分離してこぼれている場合は、ビニール袋に入ったままよく揉みほぐしてください。
 - (2) ハンドミキサーやモルタルミキサーを用いて混和材をペースト状になるまで練混ぜてください。
 - (3) 練混ぜた混和材に粉体を徐々に加えながら“ままこ”がなくなるまで3分程度十分に練混ぜてください。
 - (4) 粘度調整が必要な場合は、キープジョンを10倍希釈した液を加えて調整してください。注) 断熱性能が低下する恐れがありますので、材料の調合比は厳守してください。
注) 超軽量微小中空体が破損する場合がありますので、必要以上の練混ぜは避けてください。
注) 材料の練り置きは30分以内としてください。
- 5 断熱モルタルの塗り付け**
 - (1) 下地が乾燥している場合は、適度に水湿するか、キープジョンの5倍希釈液でシーラー処理してください。
 - (2) 下地によく馴染むように材料を一度下擦りしてください。
 - (3) 1回あたりの塗り厚は10mmを限度とし、塗り厚が10mm以上の場合は数回に分けて塗り付けてください。●次工程までの間隔時間：1週間以上
- 6 表面仕上げ** 壁面のペイント仕上げ、クロス張り仕上げの場合は、金鏝でモルキープ#11を1～2mm程度塗り付けて、表面を平滑にしてください。
注) 断熱モルタルを床面で使用する場合の表面仕上げは当社にご相談ください。
●次工程までの間隔時間：1週間以上



危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

・取扱後はよく手、顔を洗うこと。

【保管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。

【廃棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【応急措置】・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。

・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。

・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。

・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

注意事項

【使用上の注意】・湿気厳禁です。必ず室内にて、パレット等の上で床面より離して保管してください。

・1回に練る量は30分以内に使い切る量にしてください。

・練る時は、袋の全量を使い切るようにしてください。破袋または一度開封して放置された製品は使わないでください。

【カタログに関する注意事項】

・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。

・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。

・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。

・本カタログは2016年12月に作成しました。

株式会社 **トクヤマ エムテック**

URL <http://www.k-tokuyama.co.jp>

ISO 9001



OSCA

RQ1957

(登録範囲) <http://www.jtccm.or.jp/>



CM015

本社・東日本事業部 103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5 ERVIC人形町6F
TEL 03-5643-3601 FAX 03-3249-3615

中日本事業部 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

中国営業所 745-8648 山口県周南市御影町1-1 (株)トクヤマ セメント開発グループ2F
TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202

西日本事業部 861-0821 熊本県玉名郡南関町大字下坂下4821-1 ((株)熊本硅砂鉱業内)
九州営業所 TEL 0968-53-9201 FAX 0834-62-7202

首都圏セメント建材開発センター 299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10
TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工 場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店

断熱・結露防止材

TOKUYAMA



断熱モルタル

無機質超軽量モルタル

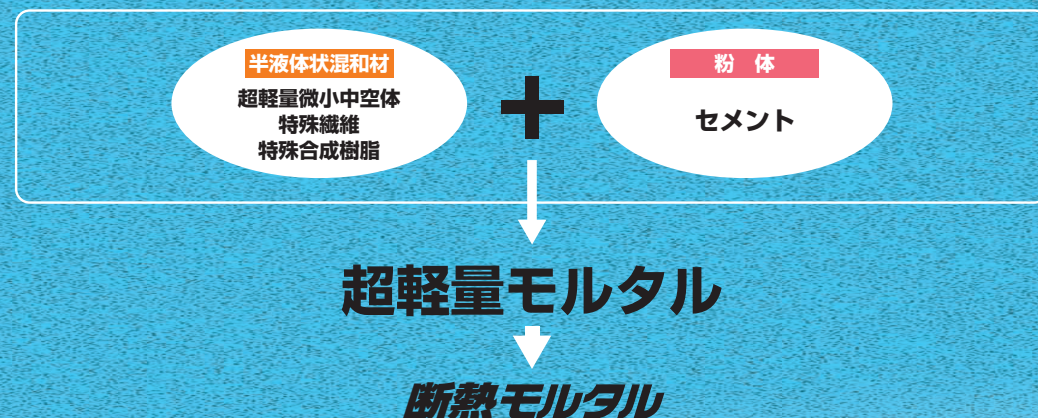
日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1112010
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

株式会社 **トクヤマ エムテック**

断熱・結露防止材 断熱モルタル

断熱モルタルとは

従来の有機質系断熱材や無機繊維系断熱材および発泡モルタルなどに替る
まったく新しいタイプの無機質系断熱材です。



断熱モルタルの仕様

標準仕様

品名	荷姿	適用下地	標準塗厚 (mm)	塗面積 (m ²)
断熱モルタル	15.7kg・ダンボール箱 (混和材11.0kg 粉体4.7kg)	コンクリート PC板、ALCパネル モルタル	20	1.67 (20mm厚)

基本物性

項目	断熱モルタル
熱伝導率 [W/(m・K)]	0.0625
単位容積質量 [kg/l]	0.47
曲げ強度 [N/mm ²]	0.6
圧縮強度 [N/mm ²]	0.5
付着強度 [N/mm ²]	0.2
吸水率 [容積%]	27
耐火性	不燃

参考：各種材料の熱伝導率

品名	熱伝導率 [W/(m・k)]	品名	熱伝導率 [W/(m・k)]
ポリウレタンフォーム	0.023	パーライトモルタル	0.523
ポリスチレンフォーム	0.035	セメントモルタル	1.512
グラスウール	0.046	ALCパネル	0.198
ひる石プラスター	0.256	コンクリート	1.628

材料の構成

超軽量骨材（マイクロバルーン）を素材とし、セメント、特殊繊維、特殊合成樹脂、水溶性樹脂などによって構成されています。作業現場では、半液体状の混和材と粉体のセット品として提供

されるため、現場で練り合わせるだけで、きわめて容易に断熱モルタルを製造することができます。

断熱モルタルの特長

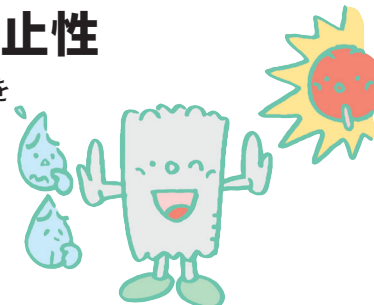
不燃性

◆セメントを主成分と
しているため不燃性です。



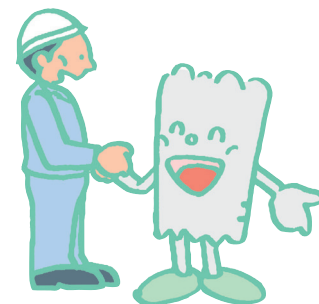
断熱性・結露防止性

◆骨材に超軽量微小中空体を
使用しているので、
高い断熱性、結露防止性を
発揮いたします。



作業性

◆比重0.4～0.5の
超軽量モルタルのため
極めて作業が容易です。



その他

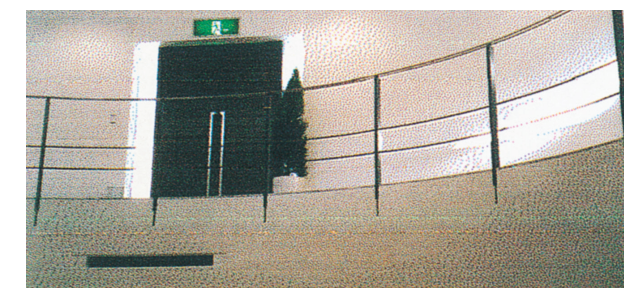
◆曲面の壁面など従来の工法では
施工困難な場所にも、
施工が可能です。



断熱モルタルの用途

- ◆建築物の内壁や天井面の断熱、結露防止
- ◆折板屋根の断熱、結露防止
- ◆有機質系断熱下地板（フォームポリスチレン、フォームポリウレタン、フォームポリエチレンなど）の仕上げおよび防火コート
- ◆サッシ周りの断熱、結露防止用充填材
- ◆建築物ピロティ床面の断熱・結露防止
- ◆スラブ返しの断熱補強

断熱モルタルの施工例



壁面断熱・結露防止工事（曲面下地への施工）



有機系断熱下地板に対する施工
（有機系下地と無機系仕上のコンビネーション）



ピロティ空間の断熱工事（床冷え対策）



サッシ周りの断熱・結露防止工事